

連帯のごあいさつ

2017年10月14日

台湾の友人のみなさま

日本・全国カジノ賭博場設置反対連絡協議会

私たちは、日本にカジノを設置させないために、日本中の住民団体、地域団体、そして、個人と連携して、日本各地で学習会、集会、シンポジウムその他の運動を行なっている民間団体です。

カジノは、ギャンブル依存症を蔓延させ、マネーロンダリングを助長し、暴力団等反社会的勢力の資金源となり、犯罪を発生させ、青少年の健全育成を阻害し、風俗環境を悪化させ、さらには、多重債務問題を生じさせます。カジノを含むギャンブルは、他人の不幸を土台にする経済活動であり、これが当たり前のように行なわれる社会を容認することはできません。私たちは、こうした理由から、カジノ合法化は断じて許されないと考えています。

残念ながら、日本では昨年カジノ解禁推進法が成立してしまいましたが、この先実際にカジノが設置されるまでには、いくつかのステップが存在します。また、どの世論調査をみても、カジノ合法化反対の意見が、賛成意見のほぼ2倍を占めており、今もって、多くの市民がカジノ合法化に反対しています。私たちは、この声に依拠して、カジノ反対の声をあげ続けます。

台湾の友人のみなさまが、昨年、澎湖島におけるカジノ開設に関する住民投票において勝利したとの報は、私たちに大きな勇気を与えてくれました。また、この3月の反賭博合法化聯盟のみなさまの訪日の際には、みなさまの創意あふれる運動の姿に触れ、日本の私たちも住民の中に入っていてより積極的にカジノ合法化反対の声を広めていくことが大切であることを学ぶことができました。

カジノは、人々から全てを奪っていく略奪的ギャンブルです。私たちは、日本のどこにもカジノが設置されることに反対します。そして、台湾のどこにもカジノが設置されることに反対します。金門島におけるカジノ設置に関する住民投票が迫っていると聞いております。私たちは、台湾の友人たちの闘いに心からの連帯の声を寄せます。金門島での闘いの勝利を願って。

「台湾にも日本にもカジノはいらない！」

以上